

認知症サポーター  
養成講座  
寸劇シナリオ  
(スーパー編)



# 好ましくない対応例

ナレーション：

平日の12時すぎ、あさ子さんは、スーパーに買い物に来ました。レジは、昼休みにお弁当を買いに来た会社員や幼稚園帰りの親子連れで、行列しています。

あさ子さんは、カゴの中をゴソゴソとしています。

店員A：

お客様、お待たせしました。こちらへお願いします。

あさ子さん：

・・・。

(カゴの中を、ゴソゴソ)

店員A：

お客様、お待たせしました。こちらへお願いします。

客(OL)：

ちょっと、なにしているのよ。レジ、空いたんだけど！

あさ子さん：

あっ。(小さく会釈して、レジへ)

店員A：

いらっしゃいませ。ポイントカードはお持ちですか？

あさ子さん：

あ、はい・・・

(財布の中を、ゴソゴソ)

店員A：

(商品をスキャンしながら)ポイントカードはお持ちですか？

あさ子さん：

はい・・・

(財布の中を、ゴソゴソ)



店員A：

お会計は、2,439円です。こちらでお支払ください。  
(カゴを会計機の横に置く)

会計機：

画面をタッチしてください。

あさ子さん：

はい・・・

(財布から、1万円札を出し、店員に差し出す)

店員A：

(イライラしながら・・・)

お客様、こちらでお支払ください。

会計機：

画面をタッチしてください。

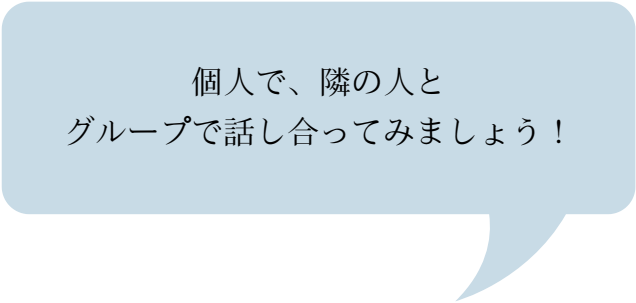
ナレーション：

さて、いかがだったでしょうか？

このやりとりをみて、あなたはどんな風を感じられましたか？

あさ子さんは、どんな気持ちだったのでしょうか？何に困っていたのでしょうか？

どのように、対応すればよいのでしょうか？



個人で、隣の人と  
グループで話し合ってみましょう！

ナレーション：

あさ子さんは、認知症で、一度にたくさんの情報を処理することができません。でも、ひとつずつ、丁寧に手助けしてもらえれば、一人で買い物もできます。

あくまでも、一例ですが、好ましい対応をみてみましょう。

# 好ましい対応例

ナレーション：

平日の12時すぎ、あさ子さんは、スーパーに買い物に来ました。レジは、昼休みにお弁当を買いに来た会社員や幼稚園帰りの親子連れで、行列しています。

あさ子さんは、カゴの中をゴソゴソとしています。

店員A：

お客様、お待たせしました。こちらへお願いします。

あさ子さん：

・・・。

(カゴの中を、ゴソゴソ)

客(OL)：

(やさしく肩をたたいて)

レジ、空きましたよ。

あさ子さん：

あっ。(小さく会釈して、レジへ)

店員A：

いらっしゃいませ。ポイントカードはお持ちですか？

あさ子さん：

あ、はい・・・

(財布の中を、ゴソゴソ)

店員A：

(商品をスキャンしながら) 拝見してもよろしいですか？

(ポイントカードを見つけ出し) こちらでございますね。おあずかりできますか？

あさ子さん：

はい。

店員A：

お会計は、2,439円です。こちらでお支払いください。

(カゴを会計機の横に置く)

会計機：

画面をタッチしてください。

あさ子さん：

はい・・・

(財布から、1万円札を出し、店員に差し出す)

店員A：

(にこやかに)

お客様、お預かりしますね。

(待ってる次のお客様に)

お客様、少々お待ちいただけますか？

会計機：

画面をタッチしてください。

会計機：

お金を入れてください。

店員A：

(にこやかに)

お客様、500円玉はお持ちですか？

あさ子さん：

はい・・・

(財布から500円玉を店員に差し出す)

会計機：

(お釣りの出る音)

ご利用ありがとうございました！

ナレーション：

さて、いかがだったでしょうか？

あささんは、周りの理解と手助けで、気持ちよく買い物を終えることができました。

今日講座を受けた皆様へお願いです。地域で暮らす認知症の方のサポーターとして、あなたの優しい気遣い、お声かけをお願いいたします。